

一般質問通告書

受領日時 令和7年 8月20日 午前9時10分 2番 氏名 小玉 正範

質問項目	質問の要旨
1. 市街地での緊急銃猟について	(1) 本町においても、昨年からクマの目撃情報が増えるようになったが、今年に入ってから、特に増えており、クマが出没しない場所がないほど、出沒情報が多くなっている。特に、本町中心部の住宅地でも目撃情報が多く出ており、パトカーが2台出て警戒した町内もある。おりしも、この9月より、市街地での緊急銃猟が可能になっている。本町中心部でのクマの目撃情報があれば、即対応できる体制は町としてできているのか。できているなら具体的な対応は。 (2) 町民がクマを発見した時の行動や連絡の仕方、猟銃を使用する際のルール・銃の音を聞いたときの町民の行動など、町民全体への注意事項などはないのか。
2. 中学校の名称	(1) 町の小学校名は五城目小学校であり、中学校名は五城目第一中学校と、「第一」という表記がある。「第一」が使われることになった理由は何か。 (2) 日本全体が人口減少の時期に入り、本町において子供の人数が劇的に増えることがなくなった今、中学校の名称から「第一」を削除することが適切と考えるが、町の考えは。

3. キイチゴ生産	(1) ネット上でも、最近は、ラズベリーの生産量日本一は秋田県である。と出てくるようになった。しかし、ここ数年は天候の悪化もあり、町だけでかつての2トンの生産量が出ていない。町の特産品として知名度を上げ、キイチゴと言ったら五城目町というほどの定着を図るためには、生産量と生産者・収益を増やすことが大事と考えるが現段階で生産者だけの努力でその状況を作るのは非常に困難である。町として援助する対策は。 (2) 農業の6次産業化といわれる時代である。人々の心をつかむキイチゴを使った新しい商品やキイチゴの希少価値を訴える必要があると思う。以前、キイチゴソフトがあった。が、今は見ない。その理由は。この経験を生かし今後、キイチゴの希少価値や商品開発について町としてどのように係わるのか。町として本気で特産品にするのなら、農林振興課にキイチゴ班を作るくらいの意気込みが必要だ。町の意向は。
4. 町図書室の利用	(1) 町図書室「わーくる」の一か月の利用人数（小学校登校日の小学生を除く）は。そして、中学生や高校生の利用人数は把握しているのか。 (2) 東京都清瀬市の市立図書館では、コーヒーを飲みながら本を読んでくつろげるということで、人気を博している。図書館内に100円前後の飲み物を提供する販売機を置くことによって、利用者が劇的に増えているとのこと。本町でも図書室「わーくる」に、コーヒーやお茶等の飲み物の自動販売機を置き、読書をゆっくと楽しむ（会話は厳禁）ことはできないのか。また、利用者数を増やす試みはされているのか。